



新年おめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。昨年末の総選挙による政権交代後、経済再建ということで経済に注目が集まっています。民主党政権で中断されていた経済財政諮問会議が再開され、経済学者やエコノミストの真価が問われる時代が再び始まろうとしています。経済教育は、それよりもうすこし長いスパンでその成果が発揮されるはずで、ネットワークもスタートして5年がたちました。今年もうまずたゆまずで、先生方の教育の支援や経済教育の情報の集約点となる活動をつづけていきます。今月もそんな活動の様子を報告いたします。

◆ 目次

【 1 】 最新活動報告

12月の活動を報告します。

【 2 】 イベントカレンダー

これからの活動の予定などを紹介します。

【 3 】 授業のヒント

【 1 】 最新活動報告

■大阪部会 (No.31)を開催しました。

日時：2012年12月15日(土) 16時00分～18時00分

場所：AP梅田大阪 大阪市北区曽根崎新地2-3-21 axビル4階 F会議室

内容、出席者11名。まず、経済教育ネットワーク理事の野間先生から、最近の活動内容および今後の予定について報告がありました。次いで、河原和之先生(関西大学中部部・立命館大学)より、「橋本市政を「公正」と「効率」の観点から検証する」と題した授業実践の報告があまりました。教科書の事例を使って概念の学習をした後、大阪市の政策を公正と効率の観点から分析することを生徒に体験させるという興味深い内容でした。丹松美代志先生(池田市教育委員会)からは、11月の全中社研(高松市)の公開授業セッションで報告された

「私たちと経済 価格の働き」の資料が紹介され、問題点の指摘などがなされ今後の検討課題とすることになりました。さらに、山本雅康先生(奈良学園中高)より、近年の「時事問題」の事例と、それに関するセンター試験の模擬問題の紹介がありました。最後に、川上敏和先生(同志社大学)から、政府の役割について経済学的な整理が紹介され、公共財、独占、外部経済性などについての解説がされました。これは、前回部会の河原先生の報告の最後に、公共財に関する授業例が取り上げられ、公共財の定義について議論になったことを受けての補足説明として

されたものです。

当日の詳細は以下の HP でご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka31report.pdf>

■東京部会 (No.54)を開催しました。

日時：2012年12月18日(火)19時00分～21時00分

場所：日本大学経済学部本館中二階会議室

内容：出席者17名。まず、新井より、配布資料『東京部会レポート』に基づき今後のWSの予定が紹介されました。また、最近新聞で取り上げられたネットワーク関連の先生方の記事の紹介がありました。次いで、夏休み経済教室の詳細が説明され、検討されました。大阪の会場が天満橋の国民会館になったこと、90分の時間枠を約半分に分けて、経済学者と現場教員のコラボを実施すること、歴史は要望が多いので継続し、世界史では大恐慌について、また日本史では80年代のバブルとその後の展開などについて取り上げてはどうかといった提案が検討されました。

篠原代表からは、恐慌やバブルなどの現象はきちんと金融の問題と結びつけて経済学的に説明する必要がある点が指摘されました。また、野間先生(同志社大学)より、大阪部会の報告がされました。実践報告では、宮尾先生(国際教養大学)の配布資料『短期の「公平性」と長期の「効率性」：クラスでのアンケート結果』に基づいた、大学1～2年生を対象にした講義での、公平性と効率性に関するアンケート結果が示されました。賃金や利潤に関する公平性を保障しようとする短期的再分配の政策が長期的な効率を保障するかに関する学生の意見をきいたもので、賛否はほぼ半数という結果でした。討論では、このようなアプローチを取ることで効率性と公平性の関係が、より興味深く学び理解できるのではないかとの意見がだされました。

当日の詳細は以下の HP でご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo054report.pdf>

【 2 】 イベントカレンダー

これからの主な予定を日程順に掲載します。

■東京部会 (No.55) を開催します

日時：2013年1月15日(火)19時00分～21時00分

場所：日本大学経済学部本館中二階会議室

内容、参加方法の詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo055flyer.pdf>

■京都部会 (No.17)を開催します

日時：2013年1月18日(金)19時00分～21時00分

場所：同志社大学 良心館

内容、参加方法など詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto017flyer.pdf>

■札幌部会 (No.6)を開催します

日時：2013年2月2日(土) 14時30分～16時30分

場所：キャリアバンク セミナールーム (Sapporo55 ビル 5階)

内容、参加方法など詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/Sapporo/Sapporo006flyer.pdf>

■計画されている主な行事

(1) WS：稚内

日時：2013年2月9日(土) 13時50分～16時50分

場所：稚内北星学園大学 本館3階小教室

内容、参加方法など詳細は以下のHPをご覧ください。

なお、8日金曜日は北海道豊富高校で授業公開があります。

<http://www.econ-edu.net/announcement/WS,Sympo/20130209WS%20Wakkanai.pdf>

(2) WS：川口

日時：2013年2月16日(土) 13時30分～16時30分

場所：埼玉県川口市立里中学

内容、参加方法など詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/WS,Sympo/WS%20Kawaguchi20130216Rvsd.pdf>

(3) 年次大会 京都 3月23日(土)

場所：同志社大学寒梅館

内容：経済教育と法教育の対話その2

コーディネーター 中川雅之先生

問題提起者：経済学から安藤至大先生(日本大学)、法学から野川忍先生(明治大学)

高校から吉田英文先生、関本祐希先生

参加方法など詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/WS,Sympo/20130323symposium%20flyer%20UP1.pdf>

(4) 夏休み経済教室日程と開催地(会場)が決定

2013年8月1, 2日 名古屋(ウイंकあいち)

同 8月5, 6日 大阪(天満橋・国民会館)

同 8月8, 9日 福岡(天神ビル)

同 8月12, 13日 東京高校(東証)

同 8月19, 20日 東京中学(東証)

内容は現在検討中ですが、教科書を読み解くシリーズ、歴史を経済で読む、エコノミストと現場教師とのコラボなど、これまで以上に先生方にとって役立つような内容を目指しています。ご要望などありましたらお寄せください。

■関連団体の動き

第20回ミニネタ研

日時： 2013年1月20日（金）13:00～15:30

詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/neta/Mini-Neta%2020th.pdf>

第30回記念大会：授業のネタ研究会 in 関西

日時： 2013年3月23日（土）～24日（日）

詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/neta/30th%20KinenTaikai.pdf>

【 3 】 授業のヒント

「ちらしの効用」

新聞に関してはこのコーナーで何回か取り上げています。今回のヒントも新聞関連です。それはちらしです。ちらしは新聞に挟み込まれて毎日配付されますが、ここに経済を読み解く素材が一杯詰まっています。ちらしの効用はたくさんありますが、以下の三点が経済の授業に役立つはずです。

一つは、身近な価格の変動を知ることができることです。それにはスーパーのチラシが一番です。目玉の商品の価格がどうなっているか、その産地はどこか、そして今はやりの商品は何かなどを即知ることができます。もし、野菜が高ければ新聞の商品面や社会面の記事に注目すればその背景も分かるはずです。先日1億円を超える価格が付いて話題になったマグロの卸値なども、新聞記事とちらしを連動して調べさせるとしっかりその理由がわかります。家電量販店やPCショップののちらしでは、寡占や独占的競争の生々しい実態もうかびがあります。自動車や住宅のちらしからは税制や補助金の動きも読むことができます。

二つ目は、日本の社会の動きがわかります。それにはアルバイトや求人のちらしがいいでしょう。例えば、この正月にはいった求人ちらしでは、老人病院や介護施設の新設オープンに伴う求人が目立ちました。それだけ需要があり、新規の供給も増えていることがここからわかります。その際、給与などもしっかりチェックしておくといよいでしょう。また、サービス業ではどんな職種がちらし求人をしているのかもあわせてみておくと、日本の産業構造の変化もしっかり理解できます。

三点目は、内容ではなく形式です。つまり、こんなに簡便な紙ベースのデータはないということです。毎日のものであり、惜し気がないということは教材としての利便性からいってなかなかのものです。ただし、最近は新聞を読まない家庭も増えています。

その場合は、先に取り上げたスーパーや家電量販店などはネットでもちらしを見ることが

できます。

ちなみに、我が連れ合いは新聞の本体よりちらしの方の熱心な読者です。そのリアリズムは教室で教える私をはるかにしのぎます。その力の源泉はちらしを精読するところにありとみています。(新井)

【 4 】 編集後記 (みみずのたはこと)

年末に名古屋で、高校の先生方を対象に授業の工夫の話をしてきました。その際に、授業の活性化の一つとして実物教材の持ち込みのデモンストレーションをやりました。11年の2月号(25号)の「授業のヒント」で扱ったフェアトレードのチョコの食べ比べです。丁度その直前に、大学での教育法の講義でも大学生を対象に同じ内容をデモンストレーションしました。その結果が対照的で、とても興味深いものでした。

大学生は、フェアトレードのチョコの値段を聞いたら買うのをやめるという反応です。これはこれまでの高校生の反応と同じです。ところが先生方は、二倍以上の値段の差にもかかわらずフェアトレードのチョコを買う意志を示した人数が、値段を聞く前より増えたのです。はじめての結果でした。理由は懐具合の違いだろうと思いました。思想や倫理で持続可能な経済システムができるかという問題提起をこれまでしてきましたが、可処分所得が多くなれば可能性ありと思ったりします。その意味では授業の対象の集団の質の違いをしっかりと見た上で授業実践をしなければいけないのだと感じさせる体験でした。

ネットワークの先生方でチョコの食べ比べをしたらどうなるか、興味深いところですよ。(新井)

=====
登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>

=====



編集・発行 : 経済教育ネットワーク

————— (C) Network for Economic Education ◆◇